

県教育委員会の取組

学力向上に向けた 説明会等を実施します

- ・ 校長会や教務主任会等で、調査結果と今後の取組について説明します。
- ・ 学力向上対策検討委員会で今後の方策について提案します。

県学力調査を実施します

- ・ 12月実施予定です。
- ・ 調査結果及び課題克服プリントを提供します。

県教委としての 取組

授業研究を支援します

- ・ 校内研究会へ指導主事を派遣します。
- ・ 授業マイスターの授業公開を行います。

好事例を発信します

- ・ 学力向上に向けた特色ある取組を行っている学校の事例を紹介します。

過去問題を提供します

- ・ 全国学力・学習状況調査単元別過去問題
- ・ 過去の県学力調査（ゆうチャレンジ）問題
- ・ ゆうチャレンジ単元別評価問題



1 過去問題の提供

対応表と関連問題の活用

26年度全国学力・学習状況調査小学校算数A問題と
ゆーチャレンジ単元別評価問題及び全国学力・学習状況調査単元別過去問題との対応表

問題番号	設問の概要	出題の趣旨	単元別評価問題	学力調査過去問題
1 (1)	$46 + 57$ を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	2. 加法・減法	1302: たし算とひき算の筆算
1 (2)	903×6 を計算する	被乗数に空白のある整数の乗法の計算をすることができる	3. 乗法	該当過去問題なし
1 (3)	$9 - 0.8$ を計算する	小数第1位までの減法の計算をすることができる	5. 小数の意味や表し方	1405: 小数の仕組み、し算とひき算
2 (1)	$120 \div 4$ を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる	3. 整数の除法	1403: 整数のわり算(除数が一桁)
2 (2)	120×4 を計算する	減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる	4. 整数の計算の能力の定着	1413: 四則に関して成り立つ性質、式
3 (1)	$\frac{1}{5}$ を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができる	4. 分数	1506: 等しい分数、分数のたし算とひき算
3 (2)	割合を基に、赤いテープの長さが白いテープの長さの1.2倍に当たる青いテープの長さを求める式を選ぶ	割合が1より大きい場合、比較量の求め方が(基準量) $\times$ (割合) になることを理解している	3. 小数の乗法、除法 2. 小数・分数の計算の能力の定着	1503: 小数のかけ算
3 (3)	割合を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の0.4倍に当たる青いテープの長さを求める式を選ぶ	割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準量) $\times$ (割合) になることを理解している	3. 小数の乗法、除法 2. 小数・分数の計算の能力の定着	1503: 小数のかけ算
4 (1)	示された分数の中から $1\frac{1}{2}$ より大きいものを選ぶ	分数の相等及び大小について理解している	6. 同分母分数加法、減法 4. 分数	1407: 分数のき算 1506: 等しいのたし算とひき算
4 (2)	8mに16人いるAの部屋のの様子を表している図を選ぶ	二つの数量の関係について、単位量当たりの大きさを調べる場面と図とを関連付けることができる	8. 異種の二つの量の割合	1511: 単位量
4 (3)	8mに16人いるAの部屋について、1m当たりの人数を求める式を書く	単位量当たりの大きさの求め方を理解している	8. 異種の二つの量の割合	1511: 単位量
5 (1)	直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く	円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる	4. 円と球 4. 円と球の大きさ	1512: 多角形
5 (2)	1cmの立方体を基に、示された直方体の体積を求める	体積の単位(1cm ³)と測定について理解している	6. 体積の単位と測定	1509: 体積の
6	コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	作図に用いられている図形の約束や性質を理解している	10: 平行四辺形、ひし形、台形 9: 平行四辺形の性質	1410: 垂直、平行 1513: 図形の合同、性質

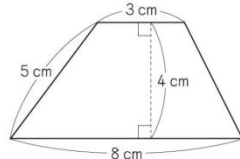
課題に対応する項目をクリック

問題が提示されます

全国学力・学習状況調査過去問題
～小学校第5学年算数「図形の面積」～(1508)

名前 _____

1 下の台形の面積を求める式と答えを書きましょう。



(H25 図 (3))

各児童生徒の課題解決に向けて、補充問題を活用しましょう

2 学力向上に向けた特色ある取組事例（1）

授業改善のポイント

授業のはじめにより具体的なめあてを設定する。

A 中学校の事例

より具体的なめあてを設定するための考え方

- ①その授業における学習の本質を突いたものであること
- ②具体的な問いかけであり、ゴールまで見通せること
- ③学習意欲を刺激する魅力的なものであること
- ④子どもの実態に応じたレベルと表現であること

【国語の場合】

従来：それぞれの表現技法の特徴を知ろう。



改善：それぞれの表現技法の効果の違いを具体例を示して説明しよう。

【数学の場合】

従来：三角形の合同を説明しよう。



改善：二つの三角形に着目し、どの合同条件を使って証明できるか判断しよう。

「これまでの課題が生徒に理解されていない」という反省から、学習課題の言葉を焦点化したことにより、生徒が何について「学び合う」のか明確に捉えることができます。

2 学力向上に向けた特色ある取組事例（2）

授業改善のポイント 授業での「学び方」のポイントを徹底させる。

B 小学校の事例

話し合いのてびき(高学年)

感想・アドバイス型

○自分の考えを伝えましょう。
○友だちの発表をしっかりと聞き感想を伝えましょう。
(よりよくなるために、アドバイスをしましょう。)

- ①これから「〇〇」についての話し合いを始めます。
大事な言葉や内容はメモをとりながら聞いて、話し合いましょう。
- ②〇〇さんから順番に発表してください。
- ③〇〇さんの発表に質問や感想はありませんか。
- ④もっとこうするとよくなると思うことはありませんか。
- ⑤これで「〇〇」についての話し合いを終わります。

気づき・発見型

○自分の考えを伝えましょう。
○それぞれの気づきや発見を出し合いましょう。

- ①これから「〇〇」についての話し合いを始めます。
大事な言葉や内容はメモをとりながら聞いて、話し合いを深めていきましょう。
- ②〇〇さんから順番に話してください。
- ③〇〇さんの考えは、みなさん、分かりましたか。

ノート指導の手引き【算数科編】

ポイント①
ノートの左がわ1マス分をインデックススペースとして空け、線を引く。

ポイント③
問題提示とめあては、学習の流れに従って、書きます。

ポイント④
一人学びの「もどめる」段階では、今まで学習した式、言葉の式、絵や図などを活用して自分の考えをまとめていきます。

ポイント⑤
めあて・・・め
問題・・・問
自分の考え・・・自
友達への考え・・・友
まとめ・・・ま
練習問題・・・ページと番号
等、省略した記号を書きます。

ポイント⑧
学習日記を書かせるときがあります。段階に応じて、意図的・計画的に書かせていきます。

ポイント②
めあては赤線、まとめは青線、問題文は鉛筆で囲みます。

ポイント⑥
1時間の学習のまとめは、学年が上がるにつれて、自分の言葉でまとめられるように指導していきます。

ポイント⑦
今日の学習が分かったか、教科書のたしかめの問題を解きます。

B小学校では、話し合いやノート指導などの手引きを積極的に活用することで、教師も児童も常にポイントを意識しながら授業に取り組むことができます。

2 学力向上に向けた特色ある取組事例（3）

授業改善のポイント 予習をして授業に臨む姿勢をつくる。

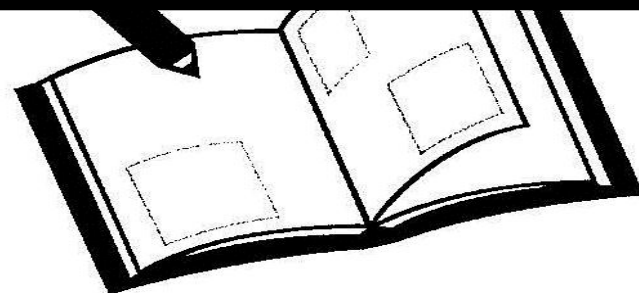
C 中学校の事例

国語科

2 学習の方法

(1) 予習の仕方

- ① 教科書の新しい文章を学習するときは、その文章を音読し、読みのわからない語、意味のわからない語、疑問に思う部分に印を付れたり、付箋を付れたりします。
- ② 話すこと聞くことの学習、書くことの学習、言語事項（漢字や文法）の学習に入るときは、教科書の説明を読み、理解できない部分に印を付けます。
- ③ 副教材「漢字スキル」の各ページの上半分を使って、漢字の読み・筆順・部首名などを確認します。



「学習オリエンテーション資料」より抜粋

社会科

(予習の進め方)

①教科書を読む

→②太字で書かれている重要語句にアンダーラインを引く

→③アンダーラインを引いた語句を用語集で調べる

→④用語集で調べた語句の最初の一文を授業用のノートに写す。

※ 提出物を、期限までに、きちんと提出できることなども学力です。先を見通せる計画力と実行力が、成績向上に一番必要な学力の1つでもあります。

家庭学習で予習も重視することで、生徒が授業で見通しをもって学ぶことにつながっています。

2 学力向上に向けた特色ある取組事例（4）

授業改善のポイント ICTを効果的に活用した授業改善（デジタルとアナログの融合）

D 小学校の事例

【ICT活用のポイント（例）】

① 教師の活用

学習の流れを示すプレゼンや、本時の資料を電子黒板で提示し、児童が見通しをもって学習を進めたり、資料と関連させて学び合ったりできるようにする。

② 児童の活用

考えを練り上げる場面では、根拠となる資料をタブレットPCに映し出して、児童が「考えを共有」しながら、学びを広げ・深めることができるようにする。



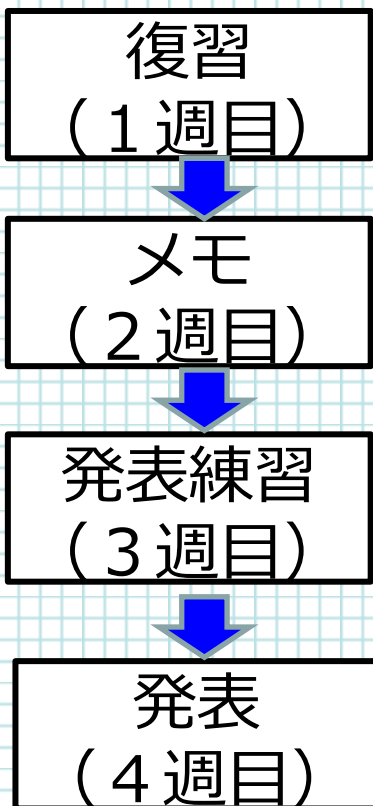
【学習の見通しをもたせる】

「学習の見通しをもつ(デジタル)」「書きながら考えをまとめる(アナログ)」「考えを視覚的に共有する(デジタル)」など、活動のねらいに合わせてICTが効果的に活用されています。

2 学力向上に向けた特色ある取組事例（5）

補充学習のポイント 「表現する力」を高める取組

E 小学校の事例



④発表タイム グループで発表し合い、お互いに評価し合おう。 (班で交代しながら話そう。)	③(発表練習) メモをもとにすいせんスピーチを練習しよう。 (ペアで交代しながら話そう。)	②(メモを書こう) すいせんする人をきめてその人のよさがわかるようなメモを書こう。 (ペアで相談しよう)	①(復習しよう) ゲストティーチャーをすいせんします。発表者になりきって話してみよう。 (ペアで交代しながら話そう。)
わたしは さんは、ゲストティーチャーにびつたりです。 自己評価	わたしは さんをすいせんします。 自己評価	理由② 理由① すいせんする人 自己評価	わたしは松井さんをすいせんします。 松井さんは、白川の近くに住んでいて、白川のことなら何でも知っています。白川にいる魚の種類や、草花の名前、さらにどんな川なのかという歴史も知っています。 以前、白川のことをやさしくていねいに教えてくれました。話し方が上手なので、白川のことを楽しく本当によくわかりました。 白川のことを一番よく知っているのは松井さんにまちがいありません。白川博士の松井さんはゲストティーチャーにびつたりです。 自己評価

「話す・聞く力ぐんぐんタイム」学習シート
五年組 番

☆めあて 理由を明確にして、人物をすいせんするための話をしよう。
ゲストティーチャーに来てもらい、話を聞いたり、得意なこと教えてもらったりすることになりました。学校に来てもらいたい人をすいせんしよう。



週1回の「ぐんぐんタイム」では、一つのテーマを4週間かけて学んでいきます。年間を通して「表現する力」を高めることができます。

2 学力向上に向けた特色ある取組事例（6）

補充学習のポイント

学力調査問題を活用した補充学習

F 小学校の取組

過去の調査問題に

- ・ 該当学年
- ・ 領域
- ・ 過去の正答率

を、明示します。

宿題や補充学習として活用します。

H24	3	(2)	第4学年	C 図形(1)イ	正答率	5%
H24			第5学年	B 量と測定(1)ア		

(2) 次に、長方形の中にいろいろな四角形をかいて、ひし形と同じように、いつでも長方形の面積の半分になるのかどうかを調べます。

図1から図3のように、四角形の中に直角三角形をつくり、面積が等しい直角三角形にそれぞれ○や△などの印をつけます。

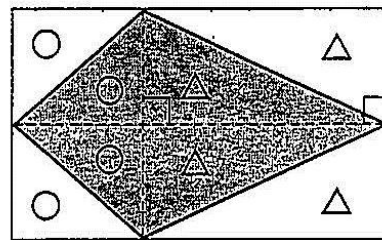


図1

調査対象は第6学年ですが、問題の内容は全学年。学校全体で取り組む意識を高めます。

2 学力向上に向けた特色ある取組事例（7）

補充学習のポイント 「学力向上月間」を設定した計画的な取組

G小学校の事例

年度 学力向上アクションプラン

() 学校

本年度の課題		自らの考えをもち、積極的に交流し合おうとする力に個人差が大きい。学力の男女差や個人差もはっきりと見られる。		本年度の目標		自らの考えをもち、自信をもって表現できる子どもたちの育成をめざし、国語科を中心とした言語活動の充実を図る。共通実践を積み重ねる。		具体的目標												
「確かな学力」の定着																				
1 熊本型授業の質の向上	熊本型授業のチェックシート活用		講師招聘（理論の確立）	「菊池の風」参加		講師招聘（言語活動の充実）	学力充実研究発表会	講師招聘（授業力向上）	評価・反省											
2 校内研修の充実	校内研修（全国：結果分析）	校内研修（学力の基礎基本）			校内研修（ゆうチャレンジの問題を解く）			研究論文提出	研究の総括											
3 教科による一人1回以上の研究授業			大研 5-2 大研 2-1 大研 1-3 大研 6-2	大研 4-1	理科専科研究授業	中研 1-2 2-3 3-1 3-2 4-2 5-3 6-3	研究発表会 1-1 2-2 3-3 4-3 5-2 6-1	算数少人数指導研究授業	音楽専科研究授業	特別支援学級研究授業										
4 学力の的確な把握と分析	校内研修実施把握（学年会→全体会）				全国学力の分析			ゆうチャレンジの分析	NRT（標準学力）実施	学校総体としての分析										
5 目標の明確化と言語活動の設定	年間指導計画に言語活動を位置づけ、内容を明記する。	話す・聞くくぐんタイムの実践	集会活動での位置づけ校内統書月間	アンケート実施	校内の言語環境の整備		校内読書月間													
6 ゆうチャレンジ等を活用した学習活動の充実			単元別評価問題の取組				単元別評価問題の取組													
7 指導と評価の一体化	評価基準表の作成・確認	評価基準表の活用	児童一人一人の進歩の状況把握	個別指導の充実			学期末評価	個別指導の充実	年度末評価											
8 家庭学習の習慣化		家庭学習の手引き配付	家庭学習定着月間	夏季休業中の補充学習		家庭学習強化月間			家庭学習強化月間											
9 小中連携による学力向上の取組			小中連絡会	相互授業参観	合同校内研修	町学力向上対策会議		町学力向上対策会議	小中連絡会相互授業参観											
10 熊本版CSの活用、基礎学力向上システムの充実	募集・計画	第1回	第2回 学力向上月間	第3回	第4回	第5回	第6回 学力向上月間	ゆうチャレンジ	第7回	第8回 ステップアップ週間	第9回・まとめ									
実態		学習全国学力調査																		
月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

全国学力・学習状況調査、県学力調査の課題を踏まえて、過去問題に取り組む期間を年3回設けています。課題に合わせた集中的な取組で、課題を克服します。

2 学力向上に向けた特色ある取組事例（8）

家庭学習改善のポイント 「自学タイム」で、家庭学習の見通しをもたせる。

H 中学校の取組

「自学タイム」では

「自学タイム」では、帰りの会の前の10分間、その日の家庭学習の計画を立て、「自主学習ノートの使い方」を参考に、その日に学習した5教科の復習を始めます。続きは家庭学習となります。

「自学タイム」の効果

- 家庭での学習がスムーズになります。
- その日に学習した内容を必ず復習するので、基礎学力の向上にもつながります。
- 授業と家庭学習をリンクさせた学習習慣が確立されます。

自主学習ノートの使い方（初級編）

【内 容】 その日、授業であった教科の復習をする。（下記のノートは5教科すべてあった日の例）
 定期テストの後には、テストのやり直しにも取り組もう。

日付と勉強時間を書こう！

勉強を始める前に、教科名を書いておこう！

Date	1 / 20 / (金)	20:00~20:40	No.
	国語 英語 数学 理科 社会		

（英語）英単語を覚えよう！

・ good good good . . .

（よい）

・ soccer soccer soccer . . .

（サッカー）

何回も書いて覚えよう！

（数学）教科書 例題

① $4 \times 6 + 5$ ② $7 - 2 \times 4$

$= 24 + 5$ $= 5 \times 4$

$= 29$ $= 20$

《やりなおし》

$7 - 2 \times 4$

$= 7 - 8$

$= -1$

必ずやり直しをしよう！

（理科）重要語句をまとめよう！

光合成…植物が光のエネルギーで、水と二酸化炭素からデンプンと酸素を取り出すはたらき

重要語句を整理してまとめよう！

（社会）江戸時代の重要語句を書こう

武家諸法度 武家諸法度 武家諸法度 武家諸法度 武家諸法度

何回も書いて覚えよう！

自主学習ノートの使い方

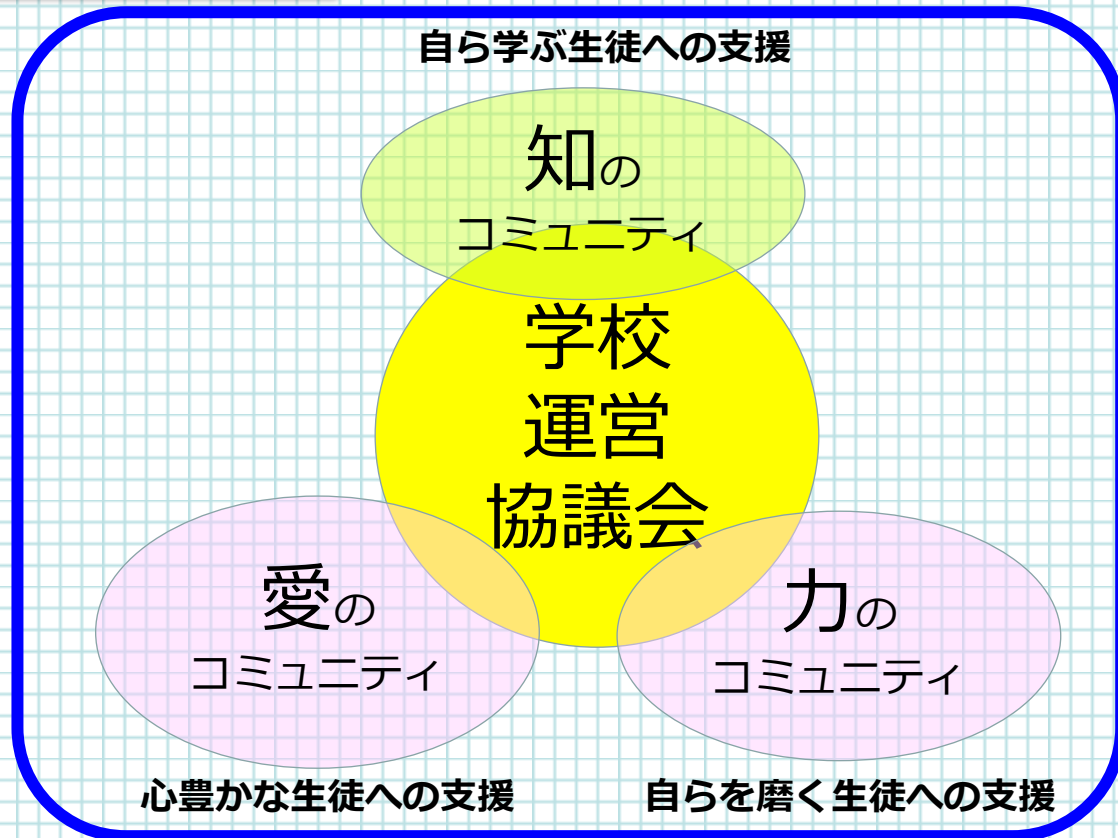
「自学タイム」(帰りの会の前10分間)で、生徒はその日の授業を振り返り、家庭学習の計画を立てて復習を始めます。その日の家庭学習につなぐ大切な時間です。

2 学力向上に向けた特色ある取組事例（9）

学校全体としての改善のポイント コミュニティ・スクールの推進を通じた学力充実

I中学校の取組

研究の組織



「知のコミュニティ」の活動

- ・ 4月 高校生による講話
- ・ 6月 世界で活躍する
地域の人の講話
- ・ 7月 着付け教室
- ・ 8月 サマースクール
- ・ 9月 自由研究まとめ
- ・ 10月 英語暗唱支援
- ・ 11月 栽培協力支援
- ・ 12月 短歌作成支援
- ・ 1月 習字支援
- ・ 2月 放課後学習会
- ・ 3月 放課後学習会

地域と共にある学校づくりを進め、地域住民の協力のもと、生徒の学力向上につなげています。

3 学力向上に向けた特色ある取組事例（まとめ）

学力向上に向けた特色ある取組を行っている学校の共通点

- 全国学力・学習状況調査結果の分析が早々に行われ、分析に基づいた課題解決計画が明確に示され、全職員で組織的に実践されています。
- 宿題の確認が確実に行われ、個別指導に生かされています。
- 学校全体で学び方が統一されており、児童・生徒の共通理解のもと、学習に取り組んでいます。
- 校長先生方が、校内の授業をよく見て回ったり、先生方が互いの授業を参観したりしています。

好事例として紹介する学校は、これらの点が共通しています。